

歯科材料9 歯科用研削材料  
一般医療機器 歯科用ゴム製研磨材 70903000

## CRポリッシャーPS

### 【形状・構造及び原理等】

[形状]

No.1(コーン)、No.2(ディスク)、No.3(カップ)

[構造]

- 1) 作業部: ダイヤモンド粒子をゴムに配合したもの
- 2) 軸部: PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂  
軸部形式1: CA用

[仕様]

- 1) 寸法: 下表のとおり (単位: mm)

| 種類             | 全長   | 作業部  |      | 軸部   |
|----------------|------|------|------|------|
|                |      | 最大径  | 長さ   | 長さ   |
| No.1<br>(コーン)  | 26.0 | 6.0  | 11.0 | 15.0 |
| No.2<br>(ディスク) | 20.9 | 10.0 | 5.9  | 15.0 |
| No.3<br>(カップ)  | 24.0 | 6.3  | 9.0  | 15.0 |

軸部の軸径については、「JIS T 5504-2:2001 歯科用回転器具  
一軸-第2部: プラスチック製」の軸部形式1に準ずる。

### 【使用目的又は効果】

本材は、研磨材としてダイヤモンド砥粒を用い、シリコンゴム系の基材で結合した歯科用研磨材であり、歯科充填用コンポジットレジン、歯冠用硬質レジン等の仕上げ研磨に使用する。

### \*【使用方法等】

- \* 1) 本材を口腔内で使用する際には滅菌する。
- 2) 通法に従って歯科充填用コンポジットレジン、歯冠用硬質レジン等の形態修正を行います。
- 3) 本材を歯科用ハンドピースに装着して使用します。
- \* 4) 部位に応じて形態を選択し、最高許容回転速度  $5,000\text{min}^{-1}$  以下で研磨を行います。
- 5) 適度に歯面や本材を水で濡らしながら研磨することによって効率的な研磨が可能です。また、乾式でも使用することが可能です。
- \* 6) 口腔内で使用後、再使用する際には速やかに、清掃液、消毒剤を用いて付着物を除去した後、滅菌を行う。  
滅菌方法: オートクレーブ ( $134^{\circ}\text{C}$  3分、又は  $121^{\circ}\text{C}$  30分) による滅菌を行う。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) ハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入して半チャックでないことを確認すること。
- 2) 使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- 3) 本材は最大  $0.5\text{mm}$  の振れを生じる可能性があるため充分注意して使用すること。
- 4) 作業部が外れたり、軸部が折れたり曲がったりすることがあるので、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- 5) 乾式で使用する場合は発熱に注意すること。

### \*【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- \* 1) 指定の最高許容回転速度を超えて使用しないこと。

|                        |
|------------------------|
| 最高許容回転速度               |
| $5,000\text{min}^{-1}$ |

- \* 2) 変形、キレツ、損傷(錆、表面キズ、曲り、汚損)等のあるものは使用しないこと。
- 3) 目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等を使用すること。
- 4) 本材を使用して研磨する際には、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。

- \* 5) 再使用する際には、清掃液、消毒剤を用いて付着物を除した後、オートクレーブ又はケミクレーブによる滅菌もしくは薬剤による消毒をすること。(乾熱滅菌は避けること。)  
なお、塩素系消毒剤には長時間浸さないこと。

### 【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧(物理的負荷)及び汚染を受けないように保管すること。
- ・本材は歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

### \*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\* 製造販売業者 株式会社 松風  
住所 〒605-0983  
京都市東山区福稲上高松町11  
電話番号 075-561-1112